

あした野原に出てみよう
～幸せは誰にも訪れている～

2024,

講師：内藤いづみ氏

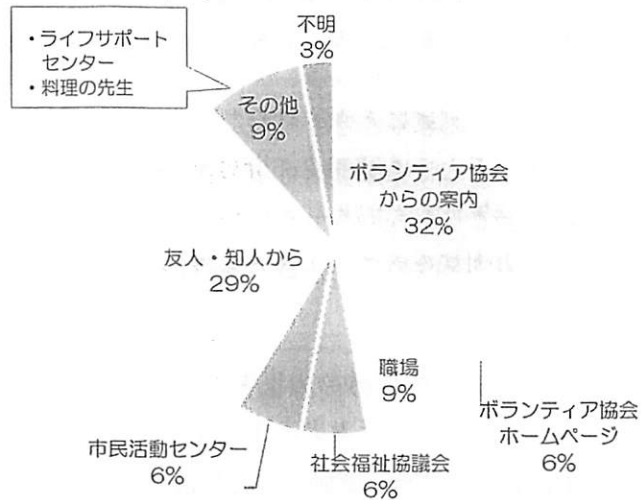
11月13日

(ふじ内科クリニック院長)

青空同好会
ボランティア
会
主催

回答数：34

この講座をどこで知りましたか。



内藤先生へのメッセージ・感想など

※誤字脱字以外は原文のままです。【 】内は、参加の動機、立場などです。

毎年、参加できる時にはお話、聴かせていただいております。毎回、元気をいただき「よし、がんばろう」と方向性を確認できます（が、なかなか、毎日の業務に追われ新しいこと、やりたいことが先延ばしになっているのが現状ですが…）。今年こそ、新しい活動を本当に始めたいと思っています。いつの日か先生にも「こんなことしています」と報告させていただきたいです。

【鶴橋明子：内藤先生のファンです。普段は訪問リハビリ&ケアマネをしております】

相変わらずぶれない先生のお話楽しく聴かせていただきました。これまで泣きながらお聴きしていた頃もあり、いつも支えていただいていたなと思っています。本も読み直してみたり。お元気そうな様子に、私も元気をいただきました。

【上原よし子：今は、知的障がいのある2人の仕事仲間として。常識が通用しないのが…。】

初めて参加させて頂きました（山梨から来ました）。「死」という漢字を今まで暗い気持ちで受け止めていましたが、このイメージが変わりました。

【池上加代子】

精いっぱい生きて、満足な終わりを迎えれば死もこわくない。

【深井千恵子：自分のこれからの生き方を、確かめたかった】

<p>良い先生にお会いしたいです。</p>	<p>【鷺巣典子：身内のケアをしている】</p>
<p>私は看護師をしております、緩和病棟でたくさんの方をお看取りしてきました。患者さん、家族の方からたくさん学ばせて頂きましたが、悲しみ、悲しみからのいかりや負の感情を受け止めているうちに、自分が疲へいしてしまい休職しました。自分がどういう風にこれから仕事に対して向きあったらよいのかヒントを頂きたく、今回先生の講演に参加させていただきました。先生のユーモアのあるお話が楽しく、とても和やかな雰囲気、内容もスッと入ってきました。印象に残ったのは、家族の方がお葬式であったり遺影の前で笑顔であった事です。お別れでなく、卒業、新たな旅立ち、天国へようこそという、死を前向きにとらえる支え方にとっても感銘を受けました。貴重なお話しをありがとうございました。 【佐藤典子：医療関係】</p>	
<p>生と死について真剣に考えさせられた。 内藤先生のお話とても興味深く聞きました。St. ピーターさんに会ったお話、天国一丁目のコーヒー店の話等とてもおもしろかった。色々 気付かされるお話でした。最後の日まで人間らしく生きる事の大切さを改めて考えさせられました。これからしっかり向きあって考えたいと思った。 【向島和恵】</p>	
<p>看護師になって40年、医療の現場でたくさんの方の最後の場も経験してきました。高齢患者の方が多くなってきて、色々と考えさせられることが多いです。 毎回先生のお話になぜか、感動し、また頑張ろうと思っています。来年、またお会いできることを楽しみにしています。ありがとうございました。 【小林千也子：医療従事者】</p>	
<p>初めて先生のお話を聴かせていただきました。先生のお言葉ひとつひとつ心に残るお話でした。とても便利な世の中で、反対にコロナ禍、震災、いろいろある世の中で、心が疲れている人達が多い時代です。しかし本日先生のお話の中で、何回か、涙があふれることがありました。今、私は平等に生きている、年齢に関係なく、これからも、精一杯生きていこう、と思います。毎日感謝できる生活を送っていきます。またお会いできる日を楽しみにしています。先生との縁をいただきました協会の皆さんにも感謝致します。 【多々良加織：福祉関係者】</p>	
<p>身近にいる大切な人を亡くすという経験をしたことはまだありませんが、そのようなことが起こったとき、または起こりそうなときにとっても大事なことを沢山教えていただきました。“今”を大切に生きること、人との関係を大切にすることの重要性を改めて学ぶことができました。ありがとうございました。 【多々良帆南】</p>	
<p>はじめて内藤先生のお話を伺いました。自分の生活の中でさいごのみとりをどう現実化させたらいいのか考えさせられました。有難うございました。 【松下秀子：自分のこれからを考えたいと思い、参加させていただきました】</p>	
<p>先生の“強い愛”を感じました。 落語家の様に引き込むマクラから本題への展開、流石です。私にとって先生のお話は人生の応援歌です。 【渡邊由美子：福祉関係者、内藤先生の一ファンでもあります】</p>	

友人との死をきっかけに、両親のエンディングノートと一緒に作成しています。どのように死をむかえるか1つの方法を教えて頂けた気がしました。ありがとうございました。

【鎌野早苗：身内のケアをしている】

人の最後のいくつもの話を聞け、私自身の終末期が来た時の心持ちをイメージできる時間でした。先生の経験を明るく、死を自然の時間として伝えていただけたことが、生きる希望そのものとして受け止められました。ありがとうございました。

【前川和子：医療関係】

内藤先生の講演ありがとうございました。

「命を頂いた奇跡」を大切に日々生活していきたいと思います。来年の講演会も楽しみにしています。

【無記入】

貴重な体験がもっと広く深くゆきわたるといいですね！体験したときのお気持ちももっと克明に表現されているともっと分かり易くなるのではと思います。

不可能でしょうが、直接お話を聞いて頂かねば伝わらない心の奥のお話でした。お元気に、せめて近隣県だけでも講演が聞かれることを願います。

【今後そのような立場になるかもしれない、可能性なしではない立場】

初めて聞いた話しでしたので、とてもよかったです。

【今、関係なくても、今後参考になる事もあるかもしれないと思ったから】

とても感銘を受けました。自分にもいずれ訪れる旅立ちについて考えさせられました。心穏やかに、自分も周りの人達もまあいい気持ちでその時を迎えたいと思います。その為には今を一生けん命生きようと思いました。ありがとうございました。

【身近にケアされている人、ケアしている人がいる】

在宅のホスピスケアに関心があって、以前から御名前を知っていたので参加させて頂きました。ありがとうございました。

【老健のNs】

看とりに対する考え方を教えて頂き、少し気持ちが楽になった様な気がしました。笑いも交えて聴かせて頂き、良い時間を頂きありがとうございました。

【福祉関係者】

毎回新鮮な学びを得られることに感謝しております（先生のご尽力、ご努力に敬服、感謝するばかりです）。

山下達郎さんの softly…改めて味わってみたいと思いました。「スピリチュアル」についてさらに深めていきたいと思っております。よい機会を有難うございました。先生のご健康をお祈りしております♡（先生のお元気が私の元気！です）

【緩和ケア病棟のボランティア、看護専門学校非常勤講師】

前にテレビでお話をきいてから、いつか実際話をおききしたいと思っていました。今日はよい機会にめぐまれてまして感激しております。	【一般のごく普通の老人です】
ありがとうございます。	【ボランティア】
次回もぜひ参加したいです。	【身内のケアをしています】
自分の終わりを考えさせられました。のんびり生きているのではなくもっと大切に1日を向き合っていきたいと思いました。先生のようなドクターが自分の近くにいたらいいのと思いました。めぐり会いたかったです。	【無記入】
昨年10月実母が他界しました。後悔している訳ではありませんが、突然急にのことでしたので、先生の話を知っていたら、短い期間ではありましたがまた違ったより添い方ができたかも…と思いました。私の母も娘・息子・孫・ひ孫に囲まれ幸せな人生であり最後だったと思います。	【無記入】
「覚悟が必要だな」とつくづく感じました。 相手と向き合う時は「真心」を大切にしていけることを、これからもずっと続けていきたいと強く思いました。ありがとうございました。	【福祉関係者】
現在、職場や実家などなど 一歩ふみ出さなくてはならない状況にあると感じていました。今日、先生と会い、あした野原に出てみようという言葉が心にしみました。ありがとうございました。	【職場で先輩から勧められ研修として参加（医療関係）】
「死別」というと、とても悲しく暗いイメージがありますが、誰もが必ず通るもので、声のかけ方ケアの仕方で自然に本人も周りも受け入れて前に進めることができることを、いくつかの事例で教えていただいて心が明るくなりました。ありがとうございました。	【一般】
死ぬまで楽しくということは本人も回りも大変です。	【無記入】
心にしみた。よかった。	【無記入】
とても身近なテーマでした。ありがとうございました。 丁寧に丁寧に生きていきたいと思いました。そして、このようなみとりができたらいのですが…やっぱり経済的な事が頭をよぎりました。誰もがこんな最後を迎えられた素敵ですねッ。同じようにはできそうもありませんが、1歩でも半歩でも近づけたら良い人生！だと言えるのでしょうか。何が大事!!を振り返らせていただきました。ありがとうございました。	【いずれケアする立場になった時の事を思い】